

キャンパスアンケート

-7月度調査結果-

参議院選挙の投票に関する意識調査

「これからの日本に期待している」と答えた若者は **27%**

文責：三枝真波

(ドットジェイピー・プロモーションCFT)

2010年7月11日～7月12日の期間、
若年層（18歳～25歳）を対象に、
「参議院議員選挙の投票」に関する意識調査を実施致しました。

政権交代後、初となる今回の参議院議員選挙に、
若者がどのような意識で臨んだのか調査することが目的です。

※本意識調査は、全国の学生**895名**が回答しました。

次項より、集計結果をご報告いたします。

本レポートの目次

◆調査概要

1：概要

2：調査アンケート質問項目

◆調査対象報告

◆調査結果報告

調査概要

◆概要

【対象】 大学生を含む全国の若年層人口（18歳～25歳） **895名**

【期間】 2010年7月11日～7月12日

【調査目的】

政権交代後、初となる今回の参議院議員選挙に、
若者がどのような意識で臨んだのか調査することが目的です。

【調査方法】

WEBアンケート （弊団体学生スタッフの配信）

紙媒体アンケート （弊団体学生スタッフが回収）

◆質問項目

問1. あなたの学年をお答え下さい。

- 【A】学部1年【B】学部2年【C】学部3年
- 【D】学部4年以上【E】大学院生

問2. あなたの性別をお答えください。

- 【A】男性【B】女性

問3. あなたの大学をお答え下さい。

- 【A】国公立大学・4年制【B】私立大学・4年制
- 【C】専門学校・短期大学【D】大学院【E】その他

問4. あなたの学部をお答え下さい。

- 【A】文系【B】理系

問5. 選挙には行きましたか。

- 【A】行った【B】行かなかった【C】選挙権を持っていない

問6. 問1で「行った」と答えた方にお伺いします。選挙に行った理由をお答え下さい。（当てはまるものを1つお選び下さい。）

- 【A】自分の意見を政治に反映させたいと思ったから
- 【B】投票したいと思う候補者や政党があったから
- 【C】投票に行くのは国民の義務だから
- 【D】日程が合ったから
- 【E】なんとなく
- 【F】その他

問7. 問1で「行った」と答えた方にお伺いします。投票で特に何を重視しましたか。下記から1つお選びください。

- 【A】実績
- 【B】政治に対する姿勢
- 【C】政策
- 【D】政党
- 【E】知人・家族などの意見
- 【F】知名度
- 【G】人柄
- 【H】見た目
- 【I】なんとなく
- 【J】その他

問8. 問7で「【C】政策」と答えた方にお伺いします。具体的にどのような政策を参考にしましたか。

下記から1つお選びください。

- 【A】景気回復
- 【B】消費税
- 【C】事業仕分けなど無駄の削減
- 【D】普天間問題
- 【E】政治とカネ
- 【F】外国人参政権
- 【G】その他

◆質問項目

問9. 問1で「行かなかった」と答えた方にお伺いします。

選挙に行かなかった理由をお答え下さい。

(当てはまるものを1つお選び下さい。)

- 【A】面倒だから
- 【B】政治に関心がないから
- 【C】自分が投票しても何も変わらないから
- 【D】投票したい候補者や政党がなかったから
- 【E】よく分からないから
- 【F】日程が合わなかったから
- 【G】選挙があるのを知らなかったから
- 【H】その他

問10. 問1で「行かなかった」と答えた方にお伺いします。

以下の選択肢で、実現されれば選挙に行くと思える内容を1つ選んで下さい。

- 【A】投票したいと思える候補者や政党の存在
- 【B】政治が分かりやすくなること
- 【C】投票日や時間の延長
- 【D】ショッピングセンターなど、投票所以外で投票が可能
- 【E】インターネットでの投票が可能
- 【F】立候補者と直接話せる機会の存在
- 【G】投票の義務化
- 【H】その他

問11. 問1で「選挙権を持っていない」と答えた方にお伺いします。

今回の参議院選挙で投票したかったと思いませんか？

- 【A】投票したかった
- 【B】投票したいとは思わなかった
- 【C】特に何とも思わなかった

問12. どこから主に選挙の情報を得ていましたか。

最も参考に使っていたものを1つ選んでください。

- 【A】テレビ
- 【B】新聞
- 【C】雑誌
- 【D】インターネット（携帯）
- 【E】インターネット（パソコン）
- 【F】ラジオ
- 【G】周囲からの話
- 【H】街頭演説やビラ、ポスターなど

問13. 選挙を終えたこれからの日本に、期待をしていますか？

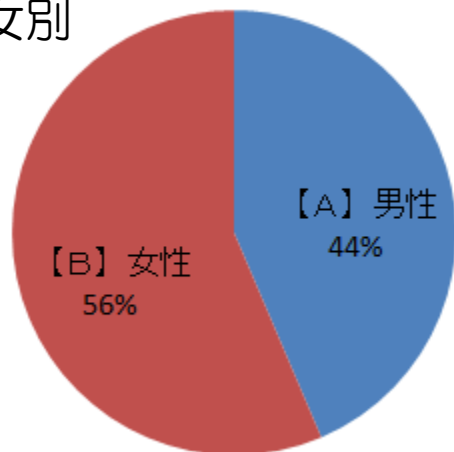
- 【A】はい【B】いいえ【C】分からない

問14. その理由をお答えください。（自由記述）

調査対象報告

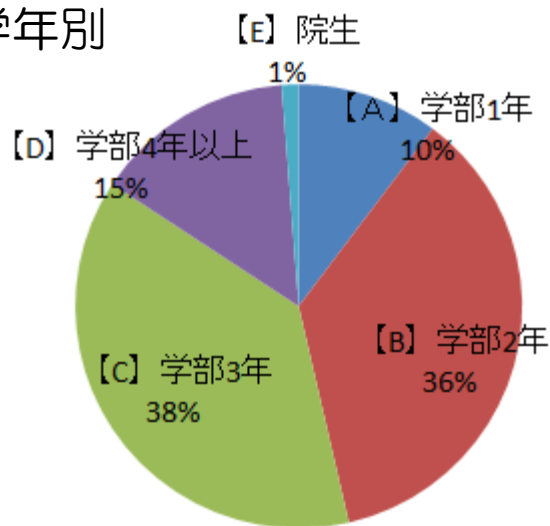
調査対象報告

◆男女別



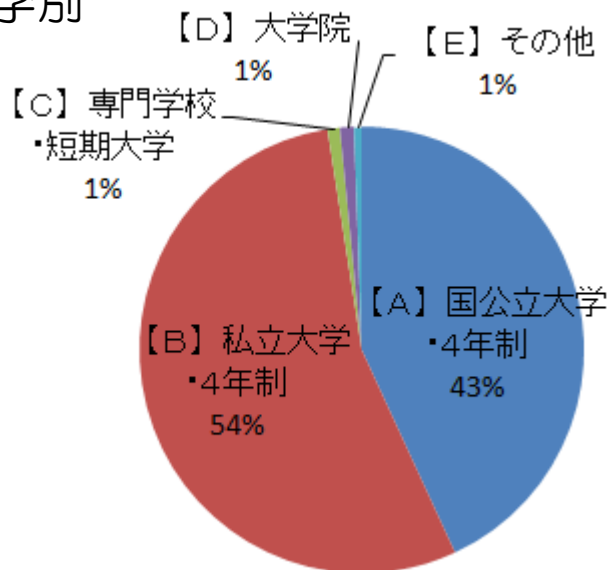
選択肢	集計
【A】男性	390
【B】女性	505
総計	895

◆学年別



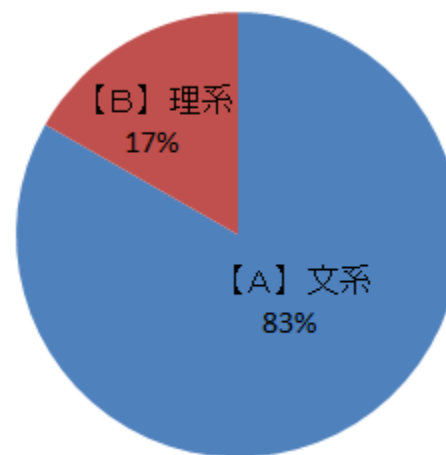
選択肢	集計
【A】学部1年	92
【B】学部2年	323
【C】学部3年	339
【D】学部4年以上	130
【E】院生	11
総計	895

◆大学別



あなたの大学をお答え下さい。	集計
【A】国公立大学・4年制	386
【B】私立大学・4年制	487
【C】専門学校・短期大学	8
【D】大学院	9
【E】その他	5
総計	895

◆文理別



あなたの学部をお答え下さい。	集計
【A】文系	745
【B】理系	150
総計	895

調査結果報告

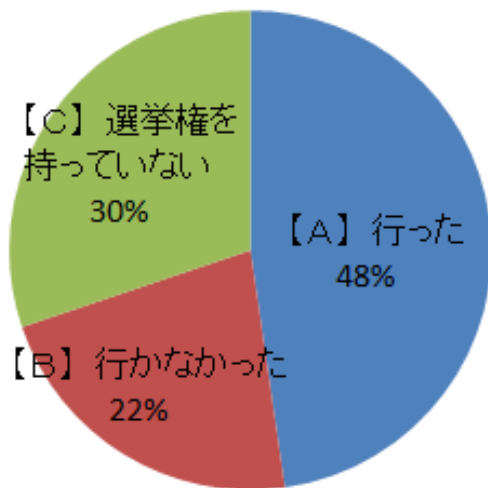
選挙に行ったかがどうか

選挙に行ったかどうかを質問した。

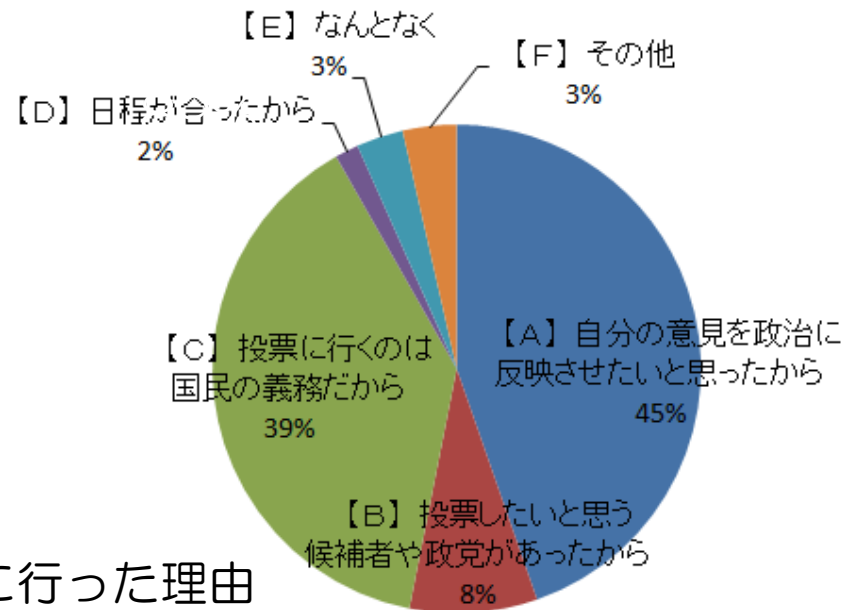
【行った】が48%、【行かなかった】が22%、【選挙権を持っていない】が30%であった。

選挙に行った人の「選挙に行った理由」としては、【自分の意見を政治に反映させたいと思った】が45%と最も多かった。

◆選挙に行ったかどうか



◆選挙に行った理由

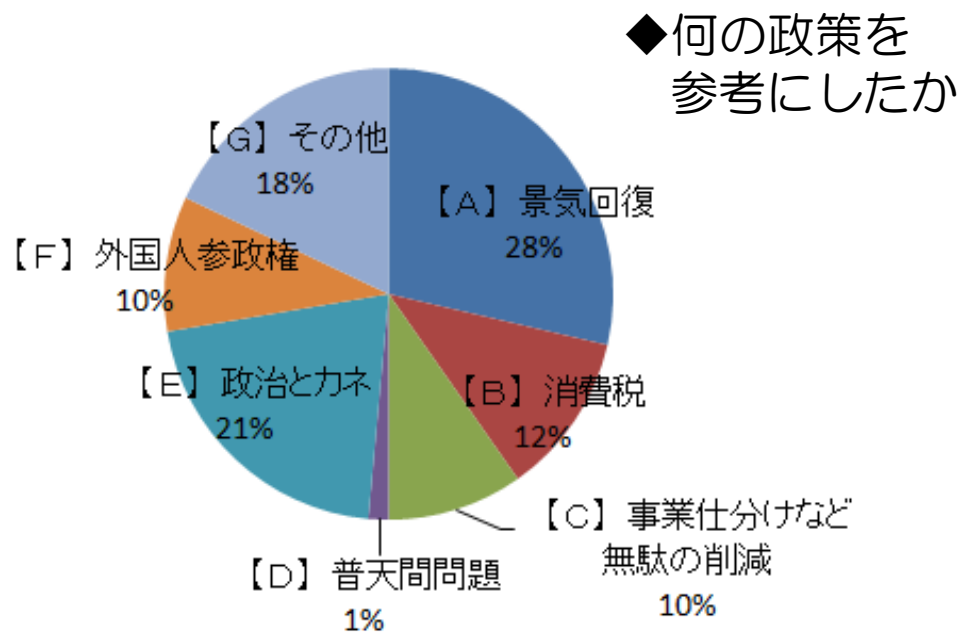
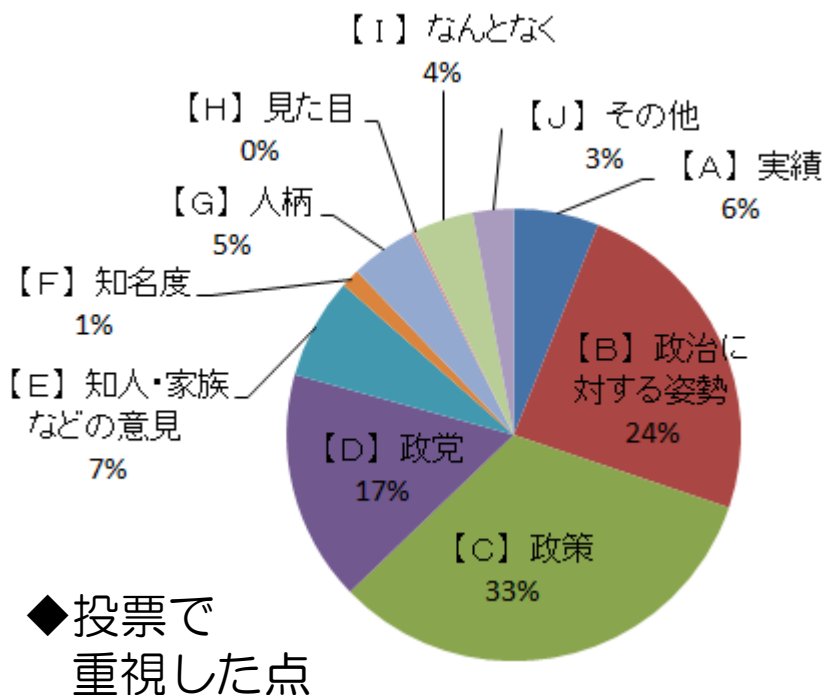


投票で重視した点

選挙に行った人に、「投票で重視した点」を質問した。

【政策】という回答が33%と最も多くかった。

また、【政策】と答えた人に「何の政策を参考にしたか」質問したところ、【景気回復】が28%と最も多く、若者も景気の悪さを実感していることが伺える。

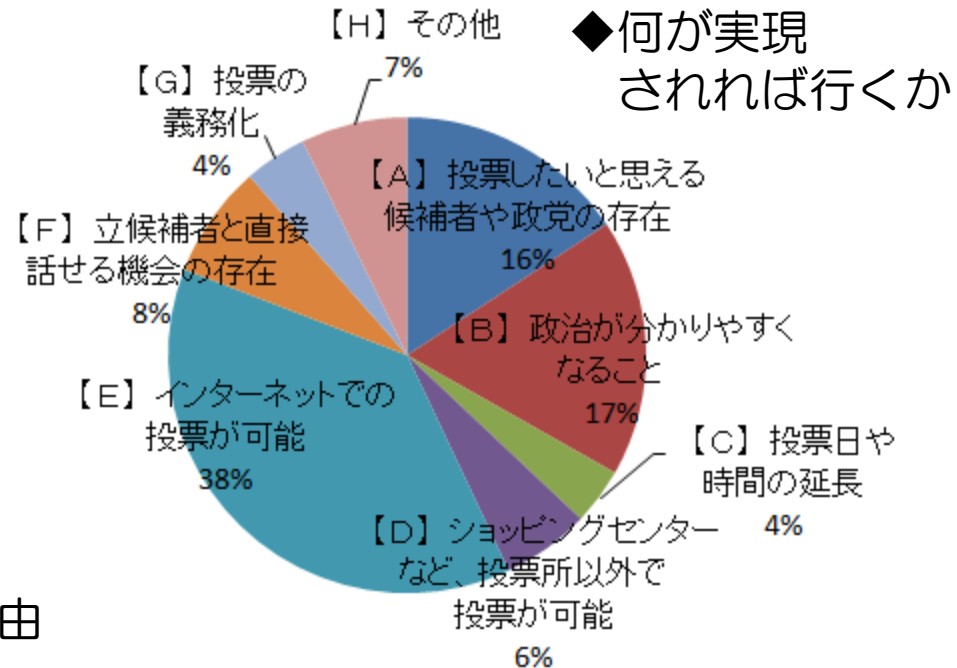
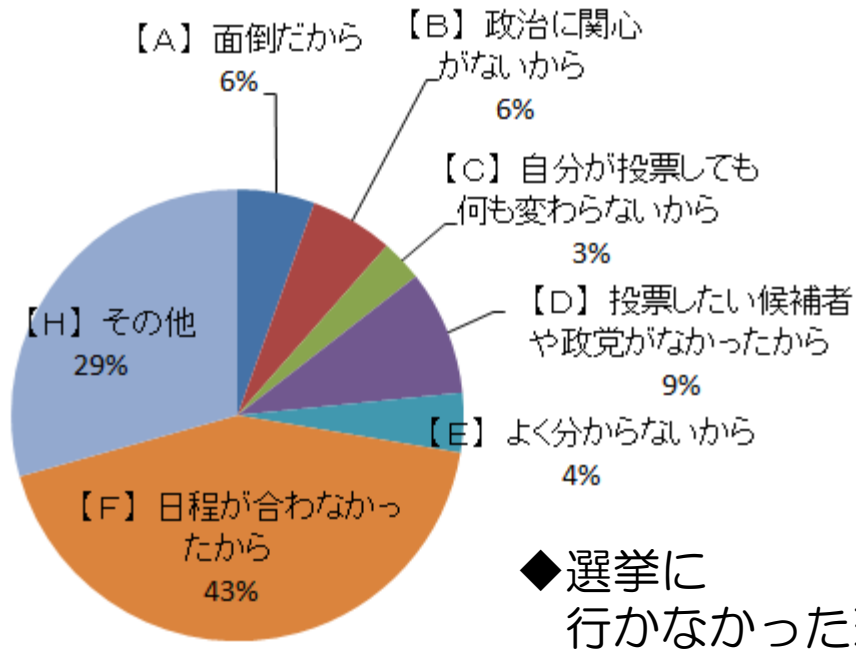


選挙に行かなかった理由

選挙に行かなかった人に、「行かなかった理由」質問した。

【日程が合わなかった】という回答が43%と最も多かった。

「何が実現されれば行くか」という質問に対しては、【インターネットでの投票が可能】が最も回答が多く、投票に対して不便を感じている若者が多いことが伺える。

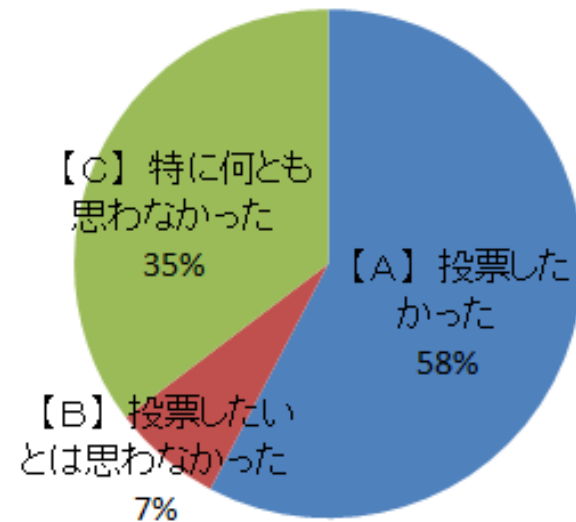


未成年は投票したかったか

選挙権を持っていない人に、「今回の参議院選挙で投票したいと思ったか」質問した。
【投票したかった】と回答した人が58%と過半数を超え、
【投票したいとは思わなかった】と回答した人は、わずか7%だった。
前項目「行かなかった理由」についての質問回答から、選挙権を持つようになり、投票したいという思いはあるものの、日程が合わず投票に行けなかったという若者が少なからずいるのではないだろうか。

◆今回の参議院選挙で投票したかったか

選択肢	集計
【A】投票したかった	165
【B】投票したいとは思わなかった	20
【C】特に何とも思わなかった	101
総計	286



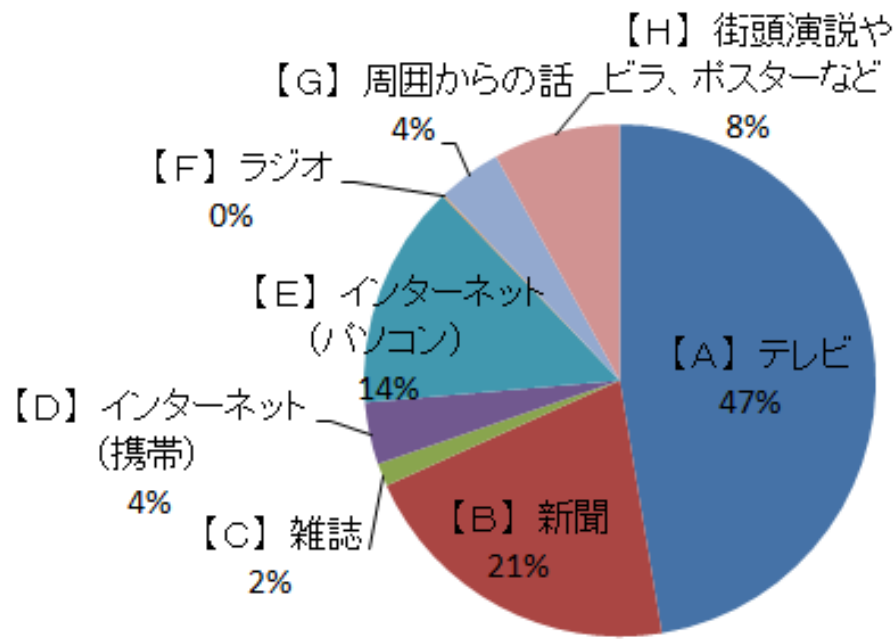
どこから選挙の情報を得ていたか

「どこから主に選挙の情報を得ていたか」について質問した。
約半数の47%の人が【テレビ】と答えた。テレビ離れが加速していると言われていたが、若者にとってまだテレビは重要な情報源なようだ。

【新聞】は【インターネット】より上回る結果となったことから、インターネットを情報源にする若者は確実に浸透しているようである。

◆どこから選挙の情報を得ていたか

選択肢	集計
【A】テレビ	424
【B】新聞	187
【C】雑誌	13
【D】インターネット(携帯)	35
【E】インターネット(パソコン)	127
【F】ラジオ	1
【G】周囲からの話	36
【H】街頭演説やビラ、ポスターなど	72
総計	895



これからの日本に期待しているか

「これからの日本に期待しているか」について質問した。

【いいえ】という回答が最も多く39%を占め、次いで【分からない】が34%、【はい】が27%という結果になった。

【いいえ】と回答した人の多くが「変わると思えないから」という理由を上げているのに対し、【はい】と回答した人の多くは「変わってほしい」「期待しないとよくなる」という理由を上げていることから、世論とともに、移り変わりの著しい情勢に困惑していることが伺える。

◆これからの日本に期待しているか

選択肢	集計
【A】はい	237
【B】いいえ	353
【C】分からない	305
総計	895

